

平成23年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費

1項 農業費

生産振興課(内線:7272)

6目 農作物対策費

(単位:千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考										
				国庫支出金	起債	その他	一般財源											
(新) すいか産地施設化緊急 対策事業	0	65,000	65,000				65,000											
トータルコスト	0	65,799	65,799	(補正に係る主な業務内容)														
従事する職員数	0.0人	0.1人	0.1人	補助金交付事務														
工程表の政策目標(指標)	—																	
事業内容の説明																		
<p>1 事業の目的・概要 「食のみやこ鳥取県」の夏の味覚を代表するすいかの産地を更に発展させるため、市場から要望が強い6月下旬から7月上旬の出荷量を増やすためのパイプハウス整備に係る経費を緊急的に支援する。</p> <p>2 主な事業内容 (単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業内容</th> <th>事業主体</th> <th>事業費</th> <th>予算額</th> <th>補助率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>すいかパイプハウス設置に係る経費の助成 事業規模:390a×500万円/10a</td> <td>農協</td> <td>195,000</td> <td>65,000</td> <td>県 1/3 市町村1/6</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 事業実施期間:平成23年度</p> <p>4 すいか栽培の現状と課題 (1)鳥取県のすいかの位置づけ 鳥取県は熊本、千葉、山形に次ぐ第4位の生産量を誇る産地で、6月上旬から7月下旬まで主に京阪神、関東市場へ出荷している。鳥取県産すいかの販売額は26億円(平成23年産)で野菜全体の約25%を占め、白ねぎと並ぶ鳥取県を代表する品目である。 近年、全国的に大玉すいか産地が縮小する中で、鳥取県産のすいかは食味等品質が高く、また、生産出荷体制が強固で安定的な供給を期待される産地として他産地では代替できないと言われるほど市場評価は年々上がっている。</p> <p>(2)すいか産地の課題 すいかは、パイプハウスとトンネルで栽培されるが、ハウス栽培とトンネル栽培の出荷の切り替わる6月下旬から7月上旬にかけて供給が不安定となっている。この時期の出荷を安定させるためには、パイプハウスの面積を大幅に拡大する必要がある。 しかし、パイプハウスは世界的な鉄鋼需要の高まりにより、年々設置にかかるコストは増加していることから、整備は進まず、今後すいか産地を発展させるうえで支障となっている。</p>									事業内容	事業主体	事業費	予算額	補助率	すいかパイプハウス設置に係る経費の助成 事業規模:390a×500万円/10a	農協	195,000	65,000	県 1/3 市町村1/6
事業内容	事業主体	事業費	予算額	補助率														
すいかパイプハウス設置に係る経費の助成 事業規模:390a×500万円/10a	農協	195,000	65,000	県 1/3 市町村1/6														